

# 卒業生状況調査(2023年度実施)

**調査目的** 卒業生の状況把握を行うことでより良い学生支援へつなげるとともに、教育活動の見直しや改善を行い、教育内容の充実や社会で活躍する人材の育成等に活用することを目的とする。

**調査実施日** 2023年8月25日～2023年9月5日

**調査対象** 卒業後1、3、5年目の卒業生

**調査方法** メールに記載のURLよりMicrosoft Formsにアクセスして回答。

**調査件数** 1465件(内訳:2019年3月卒業:391件、2021年3月卒業:538件、2023年3月卒業536件)

- 調査内容**
1. 卒業後の就職先
  2. 入職時期
  3. 職務内容
  4. 現在の状況
  5. 退職理由(退職した方のみ)
  6. 勤務先の良いと思う部分について
  7. 勤務先で改善して欲しい部分について
  8. 在学中に身についたこと
  9. 在学中に受けた教育内容やサービスは現在の仕事に活かしているか
  10. 就職を希望する学生に伝えて欲しいこと

## 調査結果 ■回答件数

223件(企業:120件、病院・施設:29件、公務員・学校:55件、進学・不明:19件)

(内訳 2019年3月卒業48件、2021年3月卒業:72件、2023年3月卒業103件)

<参考>昨年度回答件数:208件(企業117件、病院・施設:46件、公務員・学校:41件、進学・不明:4件)

## ■現在の状況

企業	在職 98件 退職 22件
病院・施設	在職 23件 退職 6件
公務員・学校	在職 51件 退職 4件

## ■退職理由

スキルアップや希望業種・職種への転職を理由とした退職が多かったが、業務内容が合わない、長時間労働やストレスによる体調不良、職場内でのトラブルによる退職も数件あった。

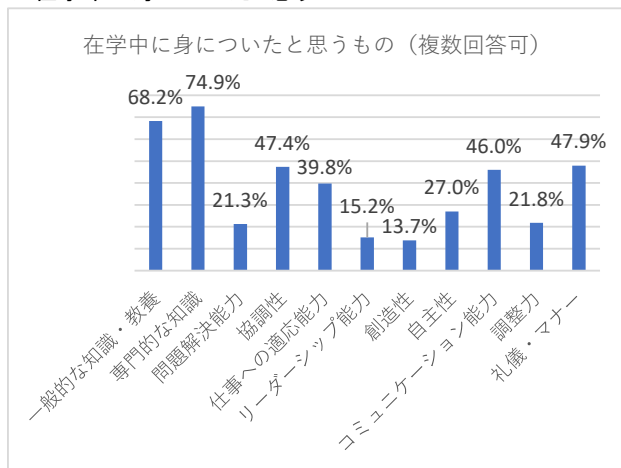
## ■勤務先の良いと思う部分について

資格を活かした業務を担当できている、職場の雰囲気や人間関係が良好である、若手でも大きな仕事を任せられる等の回答が多いことから、卒業生は良い職場環境で職務に励むことができていると考えられる。また、研修や教育制度がしっかりしている、定時で帰宅できる、福利厚生が充実しているとの回答があり、卒業生からの貴重な情報として就職支援に役立てたい。

## ■勤務先の改善して欲しい部分について

給与や手当、勤務地・転勤について、休暇が取れるように環境を整えて欲しいという意見が多かった。また、人員不足の改善に対する意見もあった。

## ■在学中に身についたと思うもの



半数を超える回答者が「一般的な知識・教養」「専門的な知識」が身についたと答えており、一定の教育効果が感じられる。一方、「リーダーシップ能力」「創造性」は2割に届かず、今後、これらの強化が課題である。

■ 在学中に受けた教育内容やサービスは現在の仕事に活かしているか

講義や実習でのグループワークや実践的な授業、ゼミ、卒業研究、臨地実習などで学んだことが現在の仕事に活かしているとの回答が多かった。また、社会に出ると基本的なPCスキルは必須のため、Excel・Word・PowerPoint等についても授業で教えて欲しかったとの意見もあった。

■ 就職を希望する学生に就職課より伝えて欲しいこと

「人生において仕事をどこに位置づけにしたいかを自身でわかるようにしておくが良いと思う。(受託給食会社)」「実際の職場の雰囲気を事前に見ることができるなら必ず見たほうが良いと思います。働く上で環境は大事だと感じます。(高等学校教諭)」「少しでも疑問や悩みがあれば現職の先輩と連絡をとって相談に乗ってもらうことが大切だとおもいます。(栄養教諭)」「自分がやりたいことができる会社や働いているイメージができる会社に出会い、就職が決まるまでは、頑張っ  
て粘って就職活動を続けて欲しいです！(保育園)」「早めに行動することが大切。自分がなりたい職業になるもの良いが、他者(家族・友達)がみる自分は、違う面がある為話を聞くことが大切。アルバイトはもちろん、ボランティアやインターンをたくさん経験すると、自分の引き出しが増え後々とても役に立つ。(児童指導員)」など、後輩たちに向けてのアドバイスを多数いただいた。これらのアドバイスを、より良い就職支援に活かしていきたい。